

1. 件名：金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止に関する日本機械学会等との面談

2. 日時：令和5年6月1日（木） 11：00～11：30

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ 技術基盤課

佐々木企画調整官、篠田係長

日本機械学会 発電用設備規格委員会

委員長 他、5名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

○日本機械学会発電用設備規格委員会では、金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格等について、アルミニウム合金の規格値などに問題点が確認されたことによる廃止に伴い、金属キャスク構造規格の改定及び再発防止対策等の運営規約制定について審議が行われていた。

○日本機械学会より、「金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止に関する追加御質問への回答の提示」の再発防止対策の見直しについて、「発電用設備規格委員会における材料関連規格の審議方法に関する規約」として審議のプロセスを定めた旨、配布資料に基づいて説明があった。また、当該規約については日本機械学会発電用設備規格委員会の運営規約として、公表している旨、発言があった。

○規制庁より、再発防止対策として、改善活動がなされているとの認識を伝えた。

6. 資料：

資料1 日本機械学会 金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止に関する追加御質問への回答の提示

資料2 「金属キャスクバスケット用アルミニウム合金事例規格廃止に関する追加御質問への回答の提示」（2016.1.28 提出）の再発防止対策見直し箇所の前後比較

資料3 発電用設備規格委員会における材料関連規格の審議方法に関する規約
(https://www.pgc.jsme.or.jp/?page_id=220)

以上